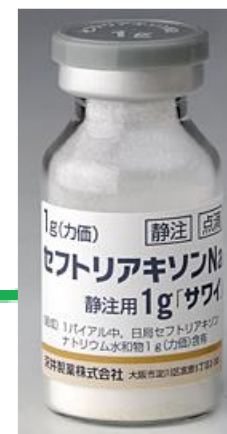
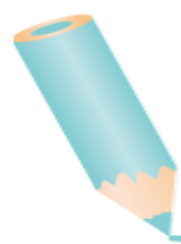




## セフトリアキソンとカルシウム含有製剤の 同時投与中止について

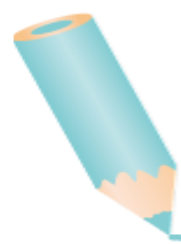


- セフトリアキソンとカルシウムを含有する注射薬又は輸液と同時に投与すると、カルシウムイオンがイオン交換反応を起こして沈殿を生じる可能性があります。
- 国外において、新生児にセフトリアキソンとカルシウム含有製剤を同一経路から同時に投与した場合に、肺、腎臓等に生じたセフトリアキソンを成分とする結晶による死亡例が報告されています。
- 成人での報告はありませんが、結晶を生じている可能性があり、人体に有害な影響を与えることも考えられるため併用時には中止が必要です。



### セフトリアキソンとカルシウム含有製剤の同時処方指示が出た場合

- (1) 輸液を変更できないか検討する
- (2) やむを得ず投与しなければならない場合
  - ①メインを長時間止めたくない場合  
ラインを止めてフラッシュ→セフトリアキソンを生食又は5%ブドウ糖で溶解し緩徐に静注→再度フラッシュ
  - ②メインを30分以上止めてもよい場合  
ラインを止めてフラッシュ→セフトリアキソンを生食または5%ブドウ糖で溶解し側管より30分以上かけて点滴静注→再度フラッシュ



### 当院採用のカルシウムを含有していない注射製剤

- ソリターT1輸液
- ソルデム3A輸液
- ヴィーン3G輸液
- EL-3号輸液
- 10%EL-3号輸液